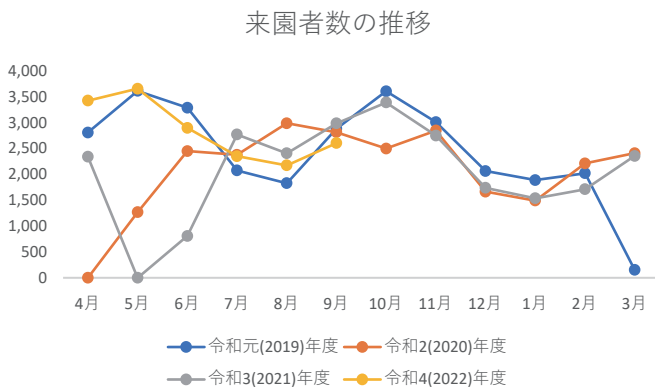


令和4年度上半期（4月～9月）の園内利用について

令和2年2月頃から国内で新型コロナウイルス感染症の感染が徐々に拡大し、同年の3月に初めて大阪府下に緊急事態宣言が発令されて以降、現在まで当施設は臨時閉園を3度実施しました。それから2年半が経ち、来園者数は感染状況に左右されるため安定しませんが、イベントや小学校等の団体受入は、令和元年の上半期と同じように実施出来るまでに回復しました。

特に今年度の4・5月は、野原や広場で生きもの観察をしたり、カメラで野鳥や草花の写真を撮影しながら森を散策するなど、屋外で自然体験を楽しむ方が多く訪れました。

森の館館内では、職員がカウンターに常駐しており、園内の見どころ紹介や生きものの解説のほか、園内の生きものや取組みに関する質問にも随時お答えし、利用者のニーズに合わせた対応を行いました。



そのほか、季節に応じた生きもののパネル展示や虫あみ・虫かごの無料貸出、セルフガイドシートの配布などを行いました。

そのほか、季節に応じた生きもののパネル展示や虫あみ・虫かごの無料貸出、セルフガイドシートの配布などを行いました。



生きもの観察の様子



職員による生きもの解説の様子

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、現在以下の対応を実施しています。

■来園時のお願いについて

- ・発熱や体調不良時の来園自粛
- ・来園時の手指消毒（森の館内外の複数個所にアルコール消毒液を設置しています）
- ・小学生以上は、森の館館内利用時はマスクの着用（屋外で職員や他の来園者と2m以内で会話をする場合を含みます）

■団体受入れについて

- ・スタッフによるプログラム提供は、内容や人数に一部制限あり
- ・1団体最大100名程度まで一度に来園可能

■イベント参加について

- ・検温及び体調確認
- ・小学生以上はマスクの用意

※この他にも利用制限を設けている場合があります。最新情報は、ホームページもしくは、ふれあいの森までお問合せください。



堺自然ふれあいの森

開園時間 9:00～17:30(3月～10月)・9:00～16:00(11月～)
休園日 月曜（祝日の場合は、翌日休み）、年末年始
入園・入館・駐車場 無料

〒590-0124 大阪府堺市南区畑 1740

TEL 072-290-0800 <http://www.sakai-fureainomori.jp/>

- バス** 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」「公園墓地北口」下車 徒歩 約1,200m
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり。「自然ふれあいの森前」下車すぐ
- 車** 阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km
「堺公園墓地」を目標にお越しください

発行 堺自然ふれあいの森 指定管理者（ふれあいの森パートナーズ）

ふれあいの森パートナーズは、株式会社計画研究所・NPO法人いっちゃんクラブの連合体です。



堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第45号

発行：令和4年11月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

令和4年度上半期（4月～9月）の普及啓発活動 および団体受入について

1. 普及啓発活動①



■2022年7月16日 アリオ鳳

今年度の新たな取り組みとして、「「堺のめぐみ」を食べマルシェ@アリオ鳳」に出展しました。堺の農業や緑（自然）に関連する企業・団体が、7月16日～18日の3日間に分けて、堺市内で採れた野菜やそれを使った加工品の販売、緑や自然に関連したクラフト体験などを実施しました。

当施設からは、7月16日に身近に観察出来る生きものの標本展示や施設紹介のパネル展示のほか、中央ステージで2回、夏休みの自由研究に役立つ「昆虫標本」の作り方を実演しました。

この出展は、今年の4月にふれあいの森に着任した職員2名が中心となって準備しました。2人とも、今まで昆虫標本を作った経験はありましたが、人に見せることを意識して標本を作る経験はなかったため、標本作りの基礎から実演するためのノウハウまでを、先輩に教えてもらいながら準備を進めてきました。

当日は、多くの方が会場を訪れ、買い物の足を止めて標本やパネルを見たり、職員に標本や施設について質問をする姿もありました。また、中央ステージで実施した実演では、開催前から楽しみに待っていてくれたご家族や、隣接するエレベーターで移動中に見ていた方もおられました。

外部出展する際は、事前にSNSなどで広報しますので、ふれあいの森のホームページやFacebook、Instagramなどをフォローしてくださいね。



1. 普及啓発活動②

アリオ鳳のほかにも、上半期は外部出展を計4回実施しました。堺市役所1階ロビーで開催された「緑の月間展示」では、ふれあいの森の四季の風景や観察出来る生きものを中心に展示を行いました。「生物多様性企画展（南図書館）」では、園内で観察出来る植物や昆虫標本、鳥のはく製のほか、草木染めや木の実の工作などを展示し、当施設での生物多様性を維持するための保全管理活動に関する取り組みを紹介しました。「OHASU FUN FESTA（大蓮公園）」では、生きもの観察会を実施し、職員が生きものの探しかたや捕まえかたなどについてをお話しました。「理科展（ソフィア堺）」では、小学校が校外学習で来園した際に体験できるプログラムを紹介したほか、毎月1回開催している年間登録制イベント「里山キッズ（小学4～6年生対象）」と「ジュニアレンジャー（中高生対象）」の各取組について、子供たちの活動の成果品と共に紹介しました。



生物多様性企画展/南図書館（5月13～31日）



OHASU FUN FESTA/大蓮公園（5月29日）



緑の月間展示/堺市役所
（4月13～26日）



理科展/ソフィア堺（9月17・18日）

2. 団体受入れ状況

4～9月までの団体受入れは、小学校8件、幼保・こども園18件、その他21件でした。団体の利用件数は、少しずつコロナ前の数値に戻ってきています。小学校に対しては、「森の概要説明」「森の散策」「生きもの観察」の3つのプログラムを軸に実施しました。「森の概要説明」では、ふれあいの森が位置する南部丘陵の自然環境や、ふれあいの森の取組について紹介し、「生きもの観察」では、職員が同行し、生きものの見つけ方や持ち方などを指導しました。虫が苦手な触れない児童も、短い時間の中で少しずつ虫に近づきながら観察していました。

団体受入れは、施設独自で作成した「新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト」を団体責任者と下見の際に共有し、来園時に双方がコロナ対策に万全に取り組める環境を整えています。

3. その他

堺市内の教員を対象にした教員研修では、5月はチョウの生態と飼育、8月は昆虫観察・標本作成と木の実を使った工作、9月に園児の自然との関りかたについて、延べ53名の教員に対して講義と実習を行いました。また、三原台小学校の1年生92名を対象に、オンラインを活用して、どんぐりの生活史や生きものとのつながりが学べる授業を行いました。

そのほか、J:COMの「LIVEニュース」の取材対応では、レポーターと一緒に野原で生きもの観察を行い、森の楽しみ方や季節の見どころについてPRしました。泉北高速鉄道のInstagramの取材では、「泉北で活動している人」として館長が取材を受け、仕事内容や職場としての森の魅力についてお話しました。



オンライン授業の実施



J:COMの取材対応



泉北高速鉄道Instagramの取材対応



小学校の校外学習の様子



教員研修会

令和4年度上半期（4月～9月）の里山環境の保全活動・普及啓発活動の担い手育成について

中学生・高校生向けの年間登録制イベント「ジュニアレンジャー」の活動の一環として、園内の昆虫相の調査を実施し、昆虫の生息状況の記録を整理するとともに、林床のネザサの刈り取りや水辺環境の泥上げといった整備作業を実施しました。また、一般参加イベント「里山のお仕事体験」では参加者のご家族と一緒に 草地環境の手入れ作業を実施しました。他にも、里山保全ボランティア養成講座の実習の中で受講者の皆様と一緒にネザサやクズの刈り取りを実施しました。

日々活動してくださっているボランティアの方々や、イベントや実習などの様々な形で作業に協力して頂いた皆様のおかげで、里山環境の保全を進めることができている、非常にありがたいと感じています。今後も皆様のご協力を何卒よろしくお願いいたします。



ジュニアレンジャー（4月10日）



里山のお仕事体験（5月3日）



ジュニアレンジャー（6月12日）

■第16回里山保全ボランティア養成講座 実施報告

今年度も定員（15名）を超える申込みがあり、13名に修了証書をお渡ししました。参加者は堺市内から来られた方が大半を占め、30～70代まで幅広い年齢の方が参加されました。特別講座①②は、オンラインで同時配信を行い講座受講生以外の方にも聞いていただける機会を設けました。毎回参加者同士や講師と活発な意見交換が行われ、講座を通して、当施設や南部丘陵での取組を知っていただく機会となりました。

	実施日	実施内容
第1講	2022年4月9日（土）	堺市の南部丘陵の保全についての取り組み紹介、特別講座①「里山保全と公園の役割」、ふれあいの森での里山保全の取組紹介、園内散策
第2講	2022年5月7日（土）	安全講習、樹林管理活動体験（座学・実習）
第3講	2022年6月4日（土）	ボランティア概論、農活動体験（座学・実習）
第4講	2022年7月2日（土）	特別講座②「堺の生物多様性」、調査研究活動体験（座学・実習）
第5講	2022年8月6日（土）	自然工作体験、森の学習体験
第6講	2022年9月3日（土）	農活動体験（実習）意見交換会、修了式、園内散策



樹林管理活動体験



農活動体験

■大学生の研修（インターンシップ）の受け入れの実施

令和4年度は、大学生6名（大阪公立大学:4名、近畿大学:1名、神戸大学:1名）のインターンシップの受け入れを実施しました。園内のフィールドや森の館カウンターでの来園者対応、展示物の作成やイベント対応の補助といった日々の業務の他、園内の動植物の生息状況調査や生息地の保全作業や、中高生対象の年間登録制プログラム「ジュニアレンジャー」の取組の中で、環境学習プログラムの企画と当日の運営までを実施してもらいました。



昆虫の調査・同定研修（9月25日）



プログラムの企画・運営研修
（9月11日）